

## Restless legs syndrome in hemodialysis patients: Prevalence and association to daytime functioning

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松井, 健太郎 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/31574">http://hdl.handle.net/10470/31574</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 613 号	氏 名	松井 健太郎
審 査 委 員 会	主 査 教 授	石郷岡 純	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究は末期腎臓病患者を対象に、血液透析患者で合併が多いレストレスレッグス症候群 (RLS) の有病率を明らかにすること、および RLS における抑うつ、QOL の低下に関連する要因を見出すことを目的とした。12.9%が安定して診断基準を満たし、この数字はこれまでのアジアにおける報告よりやや低かった。RLS 群ではその重症度、不眠の重症度、抑うつの重症度が関連していた。身体的 QOL の低下には年齢、透析期間、不眠、抑うつ傾向、RLS 重症度が関連していた。精神的 QOL には RLS 重症度は関連せず、不眠、抑うつ傾向のみが関連していたが、不眠との交絡が原因と考えられた。本研究により、わが国における RLS の有病率が明確となったことで、今後の医療・保健上の重要な基礎資料が提供されたとと言える。また、RLS の重症度が身体的 QOL の低下に関連していたことは、適切な介入の必要性に根拠を与える結果であった。以上より、学位授与にふさわしいと考えられた。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			